がん患者サロン「友部やまびこの会」が一周年をむかえました

がん患者サロンとは、患者さまやそのご家族など同じ立場の人が、治療のことや体験などを自由に語り合える場のことです。

昨年開設された、当院のがん患者サロン「友部やまびこの会」が一周年を迎えたことから、平成27年6月1日に記念の集いが開催されました。当日は、自らの体験やサロンの心強さを語る講演、ボランティアの方々によるマジックやオカリナ・ハーモニカの演奏などが行われました。

毎月のサロンでは、自由な交流に加え、治療や患者としての心構えなどに関する勉強会も開催しています。がんについて一人で悩んではいませんか。語り合い、励まし合うことで少しでも不安が軽くなるように、同じ経験を持った仲間がお待ちしています。

「友部やまびこの会」

日 時:毎月第1月曜日 13:00~15:00 場 所:茨城県立中央病院内 災害医療センター

問い合わせ: がん相談支援センター 0296-78-5420(直通)



「今後も意義のあるサロンを継続したい」 世話人・松田薫様のあいさつから

拉斯斯馬

夏の花々が お目見えしました

当院職員による「園芸サークル」では、院内の花壇に夏の花々の植え付け作業を行いました。救急センター前の花壇などに、マリーゴールドやペチュニアがお目見えしました。

これらの花の苗は、今回、作業の一部をお手伝いいただいた水戸市社会福祉事業団知的障害者就 労支援施設「はげみ」のみなさまが種から大切に



労支援施設「はげみ」のみなさまが種から大切に 育てたものです。猛暑の中、汗だくになりながら 一生懸命、植え付け作業をしてくださいました。

また、病院の正面玄関側には、緑のカーテンを設置しゴーヤの苗を植えました。これからの暑い夏、少しでも涼しく乗り切れることを期待しています。みなさま、ご来院またお帰りの際は、ちょっと足を止めてご覧いただければと思います。今後の活動は、秋頃ビオラの植え付けを予定しています。

ご意見箱から

車いすの台数を増やして下さい。

ご高齢の方、お身体が不自由な患者さまのため、随時車いすの買い増しを 行っておりますが、日によって大変混雑しております。車いすが見当たらない 場合は、お近くの職員にお申しつけ下さい。可能な限り車いすを手配いたしま す。貴重なご意見ありがとうございました。 (患者様相談室)



朝の受付時、順番がよくわかりません。早く来た場合は、どうしたらよいですか。

正面玄関は毎朝7時30分より開いております。受付開始より前にお越しの場合は、総合受付の待合椅子の上にA4サイズの番号札が置いてあります。番号札をお取りいただき、順番にお掛けになってお待ち下さい。8時になりましたら、お待ちいただいている皆様の前で、係の者が受付方法をご案内いたします。その後、順番に受付を開始いたしますので、案内に沿ってお進み下さい。

もし、わからないことがあれば、お近くの職員までお気軽にお声がけ下さい。貴重なご意見ありがとうございました。 (患者様相談室)



●入院して心配、助かるか不安な気持ちでしたが、看護師さんの心優しい言葉。 苦しんでいる本人に近寄って言葉をかけてくださり、否定的な言葉ではなく、よく聞いてくださいました。気持ちが本当に優しい方がいました。

看護師さんが、患者に寄り添う言葉をかけてくれました。家族にも親身になって色々聞いてくれました。涙が出そうになりました。ありがとう、とても素晴らしい方でした。

ご意見を お待ちして おります

何かございましたら、各階にございます意見箱をご利用ください。 メールによるご意見もお待ちしております。 goiken@chubyoin.pref.ibaraki.jp

表紙写真について

PCU (緩和ケア病棟) は、医師や看護師、心理士など多職種が協働で、主にがんで入院中の患者さまのつらさを和らげるための緩和ケアを行い、「その人らしさ」を保ちながら生活していただけるように支援する専門病棟です。

患者さまにはできるだけ、家庭のような温かい雰囲気の中で、季節を感じながら生活していただきたいという思いで、ボランティアさんの協力をいただきながら「七夕まつり」や「クリスマスコンサート」などの行事を行っております。



看護補助者募集

(ヘルパー2級保有者)

現在、嘱託職員を募集しています。

夜勤も含め、勤務部署・勤務日等は相談に応じます。 お気軽に看護局までお問い合わせください。

あなたの「働きたい」をサポートします!

- *質の高い看護と魅力ある職場づくりに努力しています。 *教育、研修、安全管理体制をしっかり整え、スタッフ全員
- ・教育、研修、女生管理体制をしつかり整え、スタップ で仕事と家庭の両立を支援します。



茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 20296-77-1121 ホームページ http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/

0

編集・発行/茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ http://www.hospital.pref.ibaraki.jp/chuo/





5

院長 メッヤージ

一第2回一

「産科再開と その波及効果」

平成27年度の産科再開と関連して、産婦人科 医師が今年9月、7名から9名に増える予定で す。今後、分娩だけでなく婦人科癌診療、婦人科 救急へも対応できる体制が整うことになります。 4月からの産科外来再開に続き、10月からは分 娩も再開します。また、今後10月以降予定日の 里帰り分娩も受け入れることにしています。

産科再開をきっかけとして、1名であった小 児科医が増員されます。7月、9月には、筑波 大学から小児科医が教授、准教授として来られ ることになりました。平成28年4月には、さら に1名増員の予定で4名体制となります。これ により、新生児医療だけでなく、小児科救急も 受け入れていくことになります。小児病棟につ いても検討が始まりました。また、1ヶ月検診 に対応するため、授乳やおむつ交換の場所も準 備されつつあります。

帝王切開などの定時手術・緊急手術が増加す ることに対し、4月から麻酔科医が1名増員さ れて計7名となりました。その結果、外科、婦 人科などの手術枠も増加することになります。

胎児、新生児への遺伝外来設置が達成されれ ば、家族性腫瘍に対応できる体制も作りやすく なります。卵巣癌では遺伝性乳癌卵巣癌症候 群、子宮体癌・卵巣癌ではリンチ症候群(遺伝 性結腸直腸癌)と関連しており、乳腺外科、消 化器内科・外科と共同で家族性腫瘍の取り扱い を充実させる計画を進めています。

産後の健康な女性への食事(お祝い膳含む) を提供するために、現在、管理栄養士などが研 究を重ねて準備中です。この努力により、病院 食全体にも好影響が出てくることを期待してい ます。

薬剤師も、妊娠女性やその可能性のある女性 に対して安全な薬物療法を行う体制を整えてく れています。妊婦さんへの薬剤投与はもちろ ん、妊娠していることを知らずに薬を服用する

茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター 病院長 吉川裕之



場合や、妊娠を計画されている患者さまへの薬 剤投与について、安全管理に気を配らなくては なりません。現在、数名の薬剤師が妊婦・授乳 婦薬物療法認定薬剤師を目指す研修に積極的に 参加してくれています。これにより、女性への 薬物療法について、院内全ての科において安全 性の向上に繋がると期待しています。

これからさらに、内科外科疾患などを持つ若 い女性の妊娠に関する相談、病院内での小さな お子様の安全性向上など、様々な計画を考えて おります。

以上のように、産科再開はいろいろな面で病 院全体へ好影響を与えつつあります。今後もよ りよい医療の提供に繋げられるよう、引き続き 努力していく所存です。



あなたの肝臓つかれていませんか? ~お酒と肝臓~

Q:肝臓に優しいお酒の飲み方を教えてください。

厚牛労働省のホームページにある「健康日本21」には、『「節度あ ●純アルコール20gの目安量 る適度な飲酒」は1日平均純アルコールで約20g程度』*とあります。 どのお酒のアルコールも、化学的にみれば同じです。ビールや

チューハイは冷たく炭酸を含むため短時間で沢山飲めるのに対し、熱 燗や焼酎のお湯割りは温かいものを少量ずつ飲むことが多く、その点 では胃腸に与える負担が違います。

なお適度な飲酒はあくまで健康な人向けです。すでに肝臓が悪いと言われている方にはおすすめできま せん。

*「アルコール」厚生労働省 http://www1.mhlw.go.ip/topics/kenko21 11/b5.html#A51 (参照2015/7/1)



Q: つまみは何がいいですか?

化学調味料や保存料がたくさん入ったものが身体によいとは思えません。それよ り例えばナッツ、それも塩分無添加のほうが身体によいでしょう。いずれにせよ食 べ過ぎはいけません。

O: 肝臓病の初期症状にはどのようなものがありますか?

「肝臓は沈黙の臓器」です。もともと非常に丈夫な臓器で、初期に症状は出ません。黄疸やだるさが続 くといった症状が出た頃には、肝炎などの病気が進行している場合も多くあります。定期的に検診やドッ クなどを受けましょう。

O: 肝炎が進行するとどうなりますか?

肝炎が進行すると、どんな原因でも最終的には肝臓が縮んで、硬くなってしまいます。これを肝硬変と 呼びます。ここから肝臓がんや胃・食道の静脈瘤が発生します。肝臓の働きが落ちると、肝不全(腹水・ 黄疸・脳症など)の状態となり、回復は難しくなります。その前に手を打たなければなりません。

Q:お酒のほかに「C型肝炎」が心配です。治療は進歩しているのですか?

1992年、C型肝炎に対してインターフェロンを注射する治療が始まりました。当初は、残念ながら効 果が弱く、副作用も目立ちました。21世紀に新しく出たインターフェロンは、打つ回数が少なくて済み、 飲み薬と組み合わせることで効果も高く、副作用も減りました。ただ、インターフェロン自体は使わなけ ればなりませんでした。

2014年から、インターフェロンを使わない、飲み薬だけの治療が登場し、今後も新しいお薬の発売が 予定されています。問題は、お薬が非常に高価なことです。医療費助成などを上手に活用すれば安心して 治療を受けられると思います。病気の状態や、服用中のお薬の内容など、いろいろな条件があります。外 来を受診してご相談ください。



消化器内科部長 兼 荒木 眞裕 医師 が答えました

プロフィール

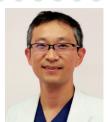
肝胆膵を専門にしていますが、最近は肝臓の患 者さんが特に増えています。C型肝炎が治せる 時代になってきましたので、一人でも多くの患者 さんを治療できたらと思っています。

ドクター紹介



震災直前の2011年3月から当院に赴任し て、4年が経過しました。当初2名だった産 婦人科医が徐々に増員となり、現在7名(吉 川院長含めると8名)になりました。今年度 は産科部門を院内助産という形で再開するこ とになり、スタッフ全員で分娩第一号に向け て準備しているところです。

産婦人科は診療対象が女性のみではありま すが、ライフサイクルに合わせて、出生され た新生児からお年寄りまで一生おつきあいし ていく診療科であると考えています。そのな かで、女性の最も特徴であると言える妊娠・ 出産に携わることができるようになり、よう やく診療科として体制を整えることができた と思います。なにか体調でお悩みのことがあ りましたら、お気軽に産婦人科にご相談くだ さい。



産婦人科 部長 高野 克己

産婦人科の高野克己と申します。医師になっ て21年目です。沖医師とともに婦人科腫瘍専 門医であり、婦人科悪性腫瘍の治療、内視鏡手 術などに従事しています。当時、中止されていた 婦人科手術の再開のために赴任して5年目に なりますが、今年は10年ぶりの産科の再開に も携わることとなりました。

当初は、産婦人科医3名でしたが、今年4月 に赴任された吉川院長を含めると、8名にまで 増員されました。婦人科の患者さんも増えてい ますが、手術枠の不足から、現在約2カ月お待 たせしてしまっています。もう少しすると手術枠 が増やせる見込みで、手術までの待ち時間を短 くできると思います。また、きっとその頃には10 年ぶりに再開した産科でも元気な赤ちゃんが 産まれていることでしょう。

この先、ロボット手術の導入も考えており準 備を始めています。県民の皆様に質の高い産婦 人科診療をご提供できるように努力していき ますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各科各部紹介 放射線技術科 第5回

「診断価値の高い画像を提供し、患者さまの診療に貢献します」

みなさまこんにちは。放射線技術科では、診 療放射線技師30名、医学物理士1名、放射線 診断医2名、放射線治療医4名で画像診断およ び放射線治療に従事しています。今年度は4名 の診療放射線技師が新たに加わり、従来と比較 してかなり若返りを見せている放射線技術科で す。女性技師も6名に増えました。

放射線科は暗いイメージがあるかもしれませ んが、明るく和やかな雰囲気になっています。 画像の専門家として、最新鋭の放射線診断装置

を用いた画像検査に努めていきたいと思ってお ります。

